

みずほCustomer Desk Report 2017/02/22 号(As of 2017/02/21)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	113.44 AUD/USD
TKY 9:00AM	113.27	1.0609	120.16	1.0032	1.2474	0.7689
SYD-NY High	113.78	1.0615	120.30	1.0106	1.2480	0.7691
SYD-NY Low	113.11	1.0526	119.57	1.0030	1.2402	0.7650
NY 5:00 PM	113.67	1.0537	119.77	1.0093	1.2475	0.7676
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.86/11.26		△25RR	0.305	Yen Call Over	

NY DOW	20,743.00	118.95	債券市場	日本2年債	-0.2300	▲0.1bp
NASDAQ	5,865.95	27.37		日本10年債	0.0950	▲0.7bp
S&P	2,365.38	14.22		米国2年債	1.2067	1.9bp
日経平均	19,381.44	130.36		米国5年債	1.9199	1.8bp
TOPIX	1,555.60	8.59		米国10年債	2.4290	1.4bp
シカゴ日経先物	19,460	310.00	為替市況	独10年債	0.3010	0.5bp
ロンドンFT	7,274.83	▲25.03		英10年債	1.2360	0.8bp
DAX	11,967.49	139.87		豪10年債	2.8000	1.0bp
ハンセン指数	23,963.63	▲182.45		USD/CNH	6.8636	0.0060
上海総合	3,253.33	13.37		ドルインデックス	101.44	0.49
USDJPY 3M Vol	11.66	▲0.02%	商品市況	CRB指数	192.050	▲0.07
USDJPY 6M Vol	11.14	▲0.04%		NY金	1,238.90	▲0.20
EURJPY 3M Vol	14.44	0.40%		WTI	54.33	0.55
EURJPY 6M Vol	12.82	0.25%		Dubai Spot	54.70	0.41

東京	東京時間のドル円は113.27レベルでオープン。ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁(投票権あり)の「現時点で3月利上げを排除しない。我々は今後数週間の展開を見極める必要がある」とのインビュー記事が報じられたことを受けて、全般的にドル買い優勢の展開。ドル円は徐々に水準を切り上げる流れとなり、一時東京時間高値となる113.71まで上昇し113.60レベルで海外市場に渡った。一方、ユーロは1.0609レベルで東京時間オープン。前日海外時間に発表されたフランス大統領選における世論調査でルペン候補(国民戦線)の支持率が上昇し不透明感が高まったことや、上述の報道等を背景にユーロ売りドル買いの流れが強まると、1.06近辺のストップロスオーダーを巻き込みつつ1.0580近辺まで下落。その後は同水準で横ばい推移が続き、1.0586レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は113円台半ばから後半にかけてもみ合いとなった。朝方は113.60レベルでオープン。序盤に一時クロス円の下落によりドル円もつれ安となり113.43まで下落したものの、その後はドルが全般的に買い戻される中、ドル円は113円台後半まで反発し113.66レベルでNYへ渡った。東京時間から見られていたユーロクロスの売りはロンドン時間に入ってから続き、ドルが上昇した背景もユーロ/ドルの下落が主因とみられる。序盤に発表されたユーロ圏2月各種PMIは総じて市場コンセンサスより強い結果となったが、フランス大統領選をめぐる政治リスクが意識される中で、ユーロは1.0586レベルで朝方オープンした後、1.05台前半まで下落し1.0532レベルでNYへ渡った。米ドルは目立った新規材料を欠く中でドルの上昇を受け下落。朝方は1.2453レベルでオープンし、1.24ちょうど近辺まで下落した後、1.2411レベルでNYへ渡った。(ロンドンタイムズ 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	NY時間のドル円は113.66レベルでオープン。この日は米主要経済指標の発表が予定されていない中、朝方は113.78まで上昇する局面が見られたものの、新規材料に欠く中でドル円は上値の重い展開が続いた。NYカットにかけてはオプション取引に絡んでドル売りが優勢となり一時113.45まで下押ししたが、その後は狭いレンジ内での推移が続いた。終盤には堅調な米株式市場が上げ幅を拡大させる動きに円売り優勢となり、再び113.71まで戻し113.67レベルでクロスした。一方、ユーロは1.0532レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ1.0526まで下落するが、1.0520のサポートが意識されたことやドル売りが強まったことなどから1.0550まで反発。午後は方向感の無い推移が続き、1.0537レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 福田・西谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月21日	9:30	豪 RBA理事会議事録(2/7開催分)	-	-
	17:30	独 製造業/サービス業/総合PMI・速報値	2月 57.0/54.4/56.1	56.0/53.6/54.8
	18:00	欧 製造業/サービス業/総合PMI・速報値	2月 55.5/55.6/56.0	55.0/53.7/54.3
	22:50	米 カシカリ・ミネアポリス連銀総裁講演	-	-
	23:45	米 製造業/サービス業/総合PMI・速報値	2月 54.3/53.9/54.3	55.3/55.8/-
2月22日	2:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁講演	-	-
	5:30	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁講演	-	-
	6:30	豪 ロウRBA総裁講演	-	-

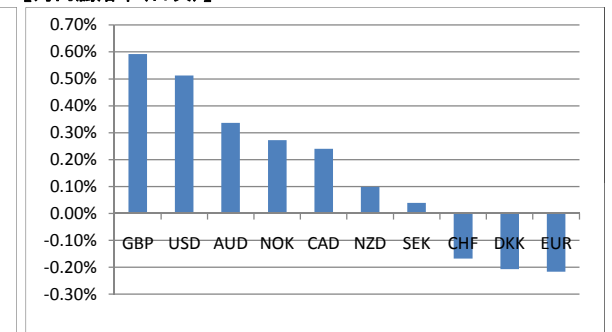
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月22日	18:00	独 FDI景況感/期待/現況指数	2月 109.6/103.0/116.6	109.8/103.2/116.9
	18:30	英 GDP・改定値(前期比/前年比)	4Q 0.6%/2.2%	0.6%/2.2%
	19:00	欧 消費者物価指数(HICP)・確報値(前月比/前年比)	1月 -0.8%/1.8%	0.5%/1.1%
	21:00	米 MBA住宅ローン申請件数	-	-3.7%
	2月23日 0:00	米 中古住宅販売件数	1月 5.55M	5.49M
2月23日	3:00	米 パウエルFRB理事講演	-	-
	4:00	米 FOMC議事要旨公表(1/31-2/1開催分)	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.70-113.50	1.0500-1.0600	118.30-120.30

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル円相場は、113.40台から113.70台でのレンジ推移。113.50近辺で欧州時間に入ると、米金利上昇を背景に113.75まで上昇するも、東京時間と同様に113.80の上値は重く、113.70近辺で推移。米国時間に入ると、3月利上げ確率が40%に上昇、米金利も上昇する中で、FEDスピーカー待ちとなり113.60～113.75で膠着していたが、マークイット米国製造業PMIが弱い数字であったことから、USD売り優勢となりドル円は113.50を割れる。しかし、米国株式相場は堅調に推移しており、主要株価指数は過去最高値を更新。また、タカ派なFED高官らの発言もあり、113.70台まで上昇して東京時間に戻ってきている。本日は、特段の材料はないが、昨日の堅調な値動きを示した米国株の動き受け、日経平均株価が上昇して始まるかどうかにはまずは注目し、日経平均株価が上昇する局面では短期的なドル円上昇を見ておきたい。また、海外時間には米FOMCの議事録が発表される予定となっている。